

## 令和4年第7回常陸太田市議会定例会会議録

令和4年12月7日(水)

### 議事日程(第4号)

令和4年12月7日午前10時開議

日程第 1 議案質疑 議案第90号ないし議案第113号

本日の会議に付した事件

日程第 1 議案質疑 議案第90号ないし議案第113号(一括上程)

出席議員

7番	藤田謙二議長	8番	深谷涉副議長
1番	石川剛議員	2番	根本仁議員
3番	鴨志田悟議員	4番	森山一政議員
5番	小室信隆議員	6番	菊池勝美議員
9番	平山晶邦議員	10番	益子慎哉議員
11番	深谷秀峰議員	12番	高星勝幸議員
13番	成井小太郎議員	14番	茅根猛議員
15番	後藤守議員	16番	高木将議員
17番	宇野隆子議員		

説明のため出席した者

宮田達夫市長	田中慈和副市長
石川八千代教育長	綿引誠二政策推進室理事
武藤範幸総務部長	岡部光洋企画部長
高木道安市民生活部長	柴田道彰保健福祉部長
岡田和也農政部長	根本晋商工観光部長
高橋学建設部長	柴田雅美会計管理者
畠山卓也上下水道部長	大関正幸消防長
西野保教育部長	榎木一行政農業委員会事務局長
綿引久雄秘書課長	富山晴美総務課長
井坂光利監査委員	

事務局職員出席者

根本勝則事務局長 富田弘明次長兼議事係長

---

午前10時開議

○藤田謙二議長 ご報告いたします。

ただいま出席議員は17名であります。

よって、定足数に達しております。

直ちに本日の会議を開きます。

---

○藤田謙二議長 本日の議事日程は、お手元に配付いたしました議事日程表のとおりといたします。

---

日程第1 議案質疑 議案第90号ないし議案第113号

○藤田謙二議長 日程第1、議案質疑を行います。

議案第90号から議案第113号まで、以上24件を一括議題といたします。

通告がありますので、発言を許します。

17番宇野隆子議員の発言を許します。17番宇野隆子議員。

[17番 宇野隆子議員 質問者席へ]

○17番（宇野隆子議員） おはようございます。日本共産党の宇野隆子です。

通告に基づいて、議案第91号、議案第93号、議案第103号、議案第107号、議案第108号の5件について伺います。

まず、議案書の8ページ、91号です。常陸太田市診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正について、これについて伺います。

その前に、この条例の提案をされる前に、天下野診療所の状況が現在どうなっているのかと、そういうことについてぜひ議会に情報提供していただきたかったと、このように思っております。

先月の全員協議会で資料が出されておりまして説明を受けておりますけれども、この中で利用延べ人数ですけれども、令和元年度が4,917人、令和2年度4,473人、令和3年度4,039人、令和4年度の見込みとして3,661人というようなことで、毎年これで見ますと400人前後のペースで減になっていると、こういうことですけれども、それについて、この利用延べ人数4,000前後の患者さんをこれまで一人で診てきたということは本当に大変なことだったろうと、このように思っております。患者数も大体250人程度いらっしゃるというようなことで、今後、こういう大幅な改正をしなければならないということになってしまったわけですけれども、非常に地域医療が厳しくなるのかなと、こういうふうに思っております。お歳をお聞きいたしますと78歳になると。確かにもう体力的にも大変だろうなと、いずれ遅くない時期には先生が退かれると、こういう時期も来るのだろうと予想はされていたかと思うんですけれども、それについても、先生いつまでできるんですかというようなことをお聞きすることはできませんので、今までこういう地域医療に頑張っていただいたということでは、私はまず感謝を申し上げたいと思います。

その中で伺いたいと思うんですけども、今度の改正で条例9ページを見ますと、現行では診療日が月火水木金とそれから土曜日も含めて週6日間、そして診療時間ですけれども午前中3時間30分午後3時間30分と合わせて1日7時間の診療ということになっておりますけれども、改正後になりますと今度は診療日数も大体半分と、4日間と3日間と、3日間になるのは土曜日の第3、第5土曜日は除くということですけれども、問題は診療時間ですけれども、これが大幅に減ということになるわけですね。午後0時30分から午後2時30分ということになっていまして1日2時間の診療と。これまで7時間の診療を2時間の診療ですから半分以下ということで、この診療時間帯を見ましても、0時半から2時30分というと大体普通の病院で先生のお昼休憩時間に当たるわけですけれども、こういうところから見ても、どういうふうに医師会の先生がこの時間帯、ご都合を付けてくれるのかなと、先生方にも無視されるということになるのかなと、この辺も心配しているわけです。

この中で、私が通告しておきましたのは、今こういうことでいろいろ話をさせていただきましたけれども、医師の確保なども含めて地域医療のこれは非常に難しいところであると、こういうふうに思いますけれども、常陸太田市医師会との合意ではそこまでが限度なのかと、この辺りのご説明をいただきたいと、このように思います。よろしくお願ひいたします。

次に、議案第93号、議案書、14ページになりますけれども、議案第93号地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備についてということで質疑をさせていただきます。

令和3年6月11日に公布されたということで提案理由にもありますけれども、この中で1点だけ伺いたいと思います。

今回、60年の60歳の定年を65歳に、65年に改めると、こういうようなことがあります。また、管理監督職勤務上限年齢とか定年前再任用短時間勤務制と、こういうところも改正されまして、任用制度よりはよくなっているのかなとは思いますけれども、この中で伺うことは、60歳を超えた職員の給与、これが7割に引き下げられると。これはやはり問題があると考えておりますけれども、定年延長とそれから新規採用を両立させていくこと、このことについての考えを伺いたいと思います。

次に、議案第103号、議案書83ページになります。チーズ工房ですけれども、常陸太田市農畜産物等加工施設に係る指定管理者の指定についてということで、指定の期間が1年から議案に出されております指定管理の指定ということで今回2年ということになっておりますけれども、今年の6月に工場長が退職されました。その後、チーズコンクールで金賞でしたかね、何か大きい賞を頂いているというようなこともありますけれども、現在の製造体制について、これについて伺いたいと思います。

次に、議案書96ページになります。議案第107号排水ポンプ車購入の契約について、3点伺います。

排水ポンプ車の購入ですけれども、担当課でお伺いいたしますと、県内では、取手市、ひたちなか市、大子町と、まだまだ県内ではこの2市1町が整備されておりますけれども、今回、太田

でも内水被害の対応ということですかね、排水ポンプ車を整備するということですが、この入札に關係して3点伺いたいと思います。

1点は、一般競争入札にかけた範囲について伺いたいと思います。

2点目に、応札した事業者数について伺います。

3点目ですけれども、契約の金額4,587万円ということですが、この落札率について伺いたいと思います。

次に、議案第108号令和4年度常陸太田市一般会計補正予算（第9号）について、この中で3点伺いたいと思います。

まず1点目ですけれども、8ページになりますが、債務負担行為補正です。追加で、西金砂そばの郷ほか指定管理業務、限度額2,400万円。この算出において、今大変な負担が大きくなっている光熱費の高騰分について、これは、算出といいますか考慮されているのかどうか、この点について伺いたいと思います。

2点目ですけれども、予算書16ページになります。5款1項8目18節交付金、農地利活用推進費407万3,000円、これについて伺います。これはこれまで行われている事業ですけれども、新たに主食米から飼料米への取り組んだ面積と人数について伺いたいと思います。

もう1点は、次のページ、17ページの上段にありますけれども、7款1項1目18節負担金、県急傾斜地帯対策事業費60万円ということですけれども、これは金額は小さいんですが、この工事の箇所については水府地区の棚谷町日向前の工事ですけれども、平成26年から工事が始まっていて令和4年度で9年目ということに入っています、今回のこの60万円の追加工事の内容、それから完成までの進捗状況ですけれども、これについて伺いたいと思います。

以上で1回目の質疑を終わります。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。保健福祉部長。

○柴田道彰保健福祉部長 議案第91号常陸太田市診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正についてのご質問にお答えをいたします。

常陸太田市医師会と合意に至るまでの経過でございますが、市では、今年度に入り天下野診療所の医師から退職の申出がありましてから、指定管理者である市医師会と十数回にわたり検討、調整を重ねてまいりました。医師会においても様々な方面へ医師確保に向け働きかけを行ってまいりましたが、常陸太田市は医師が不足している状況もあり、これまでの診療体制を維持した形で引き受けていただける方は見つけられませんでした。また、市では県にも医師確保について相談をいたしましたが、現状、天下野診療所は無医地区や僻地診療所には該当しないことから、県からの医師の派遣は難しいとのことでした。さらに、僻地等を中心に指定管理を受けている公益法人にも打診をいたしましたが、全国から当市と同様の相談を多く受けており、まずは地元の医師会と相談するようにとの助言をいただいたところです。

こうした厳しい状況にある中、天下野診療所の存続に向けた市側の強い意向もご理解いただき、従来どおりの診療体制を維持することは難しいものの、医師会において医師や看護師等の確保にめどが立ち診療日及び診療時間を見直し運営していくことで合意したところで、市といたしまし

ても可能な限り診療所の維持存続に向けて努めてきたところでございます。

○藤田謙二議長 総務部長。

○武藤範幸総務部長 総務部関連の2点のご質問にお答えをいたします。

まず1点目、議案第93号地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備についてに関するご質問で、定年延長と新規採用を両立させることについての考え方についてお答えいたします。

定年年齢を段階的に引き上げることによりまして定年退職者が出ていない年度も生ずることとなります、将来的な職員の年齢構成を考慮した中長期的な定員管理の視点に立った計画的な新規採用職員の確保に努めてまいります。

続きまして、2点目、議案第107号排水ポンプ車購入の契約についての3点のご質問にお答えいたします。

1点目の一般競争入札にかけた範囲についてでございますが、本市の一般競争入札参加資格を有する者であることを条件としたものでございまして、特に範囲を設定をしたものではございません。

2点目の応札をいたしました事業者数についてでございますが、3社でございます。

3点目の落札率についてでございますが、83.4%でございます。

○藤田謙二議長 農政部長。

○岡田和也農政部長 農政部関連の2点のご質問にお答えいたします。

初めに、議案第103号常陸太田市農畜産物等加工施設に係る指定管理者の指定について、現在の製造体制についてのご質問にお答えいたします。

現在は、製造技術者が1名、パートタイマーが5名の計6名体制で製造しているところでございます。

続きまして、議案第108号一般会計補正予算（第9号）の16ページ、5款1項8目18節交付金、農地利活用推進費407万3,000円について、新たに主食用米から飼料用米へ取り組んだ面積と人数についてのご質問にお答えいたします。

本年度につきましては、当初、飼料用米への取組面積を300ヘクタールと見込んでおりましたところ、転作面積は342ヘクタール、取組人数は113人となり、面積といたしまして42ヘクタール、人数は10人の増となったところでございます。

○藤田謙二議長 商工観光部長。

○根本晋商工観光部長 議案第108号令和4年度常陸太田市一般会計補正予算（第9号）における西金砂そばの郷ほか指定管理業務限度額2,400万円の算出において、光熱水費の高騰分が考慮されているのかのご質問にお答えいたします。

議員ご質問の光熱水費の高騰分等も含めた金額でございます。

○藤田謙二議長 建設部長。

○高橋学建設部長 議案第108号令和4年度常陸太田市一般会計補正予算（第9号）の16ページ、7款1項1目18節負担金の県急傾斜地帯対策事業費についてのご質問にお答えいたしま

す。

まず、追加工事の内容でございますが、急傾斜地対策工事といたしまして、崩壊土砂を受けるための防護柵工の延長が10メートルから12メートルに延びたものでございます。

次に、事業の進捗状況でございますが、県によりますと、平成26年から事業に着手し、全体計画の施設延長260メートルのうち今年度までに187メートルが完了する予定であり、進捗率といたしましては今年度末で約7割となってございまして、事業期間は令和7年度までの計画であると伺っております。

○藤田謙二議長 宇野議員。

○17番（宇野隆子議員） ご答弁いただきまして、ありがとうございました。

まず1件目、議案第91号常陸太田市診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正についてということで、この経過を伺いまして、昨日も質問もありましたけれども、大変執行部においても努力されているということは分かりましたけれども、やはり今後非常に診療日、診療時間後退しておりますので、一体どうなるのかと、これは誰も心配されていると思うんですけども、そこで全協で出された資料ですけれども、これを見ましても、現状としては患者さんのほとんどが慢性疾患のため投薬が中心であると、こういうような現状も書かれておりますけれども、例えば今多い糖尿病ですけれども、例えばこれ一つ挙げてみましても、薬を頂く前に行けば、血圧それから尿検査ですか、それと血液検査、ヘモグロビンa1c、それから血糖値が幾つなのかと、これらのこと、検査はこれまでどおり今まで行っていた検査は含めてできるのかどうかということを一つ伺いたいと思います。

どちらにしても物理的には大変難しくなるとは思うんですけども、これで例えば今申し上げた投薬、薬ですけれども、これまで検査をしながら大体5週間ぐらい薬が出ていたと。今度はそれが10週ということで、2か月以上になりますか、そういうことになっていくと、やっぱり患者さんがどういうふうに変化するのかと。常に1か月に1回ぐらい行っていれば、じゃあお薬を足しますか減らしますかと、こういうことにもなると思うんですけども。

○藤田謙二議長 宇野議員、先ほど質疑がありましたけれども、質疑の延長なのか整理をして発言をしてください。質疑に徹してください。

○17番（宇野隆子議員） 質疑の延長ですよ、2回目ですから。そういうことで、大分患者さんを診る時間が非常に削減されているわけですから難しいということになってくると思いますが、この検査はこれまでどおり行われていくのかどうか、ここを確認したいと思います。

議案第93号、これについては分かりました。

議案第103号、これについても、現在製造技術者1名パートさん5名ということでやっていくということで、頑張っていただきたいと、このように思います。

議案第107号排水ポンプ車購入の契約についてということで、一般競争入札にかけた範囲ですけれど、これについては別に範囲は指定しなかったということありますけれども、こういう排水ポンプ車を扱うところも相当限られてはくると思うんですけども、3社ということについては範囲を限定しなかった割には少ないと思うんですが、この辺は結果的にどのように考えてい

るのか伺いたいと思います。

次に、議案第108号ですけれども、一般会計補正予算についてですけれども、1点目の債務負担行為補正の西金砂そばの郷ほか指定管理、この限度額の内容については分かりました。

この中の3点目に伺いました県の急傾斜地帯対策事業費60万円ですけれども、これについて、私もあり専門じゃないんで分からんんですけど、60万円ということで、10メートルを2メートル追加した工事と、12メートルにするということでありますけれども、これは市が10分の1負担ということであれば600万円ということですが、やはりこのぐらい工事費がかかるものなのかなどうかその辺りを伺いたいと思います。

以上で2回目の質疑を終わります。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。保健福祉部長。

○柴田道彰保健福祉部長 再度のご質問にお答えいたします。

検査の関係でございますが、これまで行ってきた検査については実施できるものと考えておりますが、細部につきましては今後医師と調整をしてまいりたいと考えております。

○藤田謙二議長 総務部長。

○武藤範幸総務部長 議案第107号に係る第2回目の質問にお答えいたします。

3社という応札者の数についてどう捉えているんだということでございますが、今回、県内外から応札をいたたいているところでございまして、3社というのはその結果であるというふうに認識をしているところでございます。

○藤田謙二議長 建設部長。

○高橋学建設部長 急傾斜地帯対策事業費の工事費につきましてこの程度かかるものなのかということでご質問いただきました。

今回の構造物につきましては崩壊土砂、やはり山から崩れてしまっている土砂を受け止めるようなフェンスになってございますので、それ相当の強度、そういったものが必要となってございます。そういった点で、やっぱり製品代、そういったものが比較的価格がかかってくるというような状況もございまして、この金額になっているというようなところでございます。

○藤田謙二議長 宇野議員。

○17番（宇野隆子議員） ありがとうございました。

議案第91号ですけれども、常陸太田市診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正ということで、昨日市長がおっしゃられたことの中に、この改正内容がベストのものとは思っていないと、これまでよりよい方向でできればいいと、このように思っているというようなことでお話ししておりますので、ぜひ、確かにこれは大きな地域医療の後退ということになっておりますので、今後も、条例を出させて一部改正したからこれでいいということではなくて、今後ももっと現行に近づけることができるような努力を続けていってほしいと、このことをお願いいたしました。質疑を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○藤田謙二議長 以上で質疑を終結いたします。

○藤田謙二議長 次に、議案第90号から議案第113号まで、以上24件については、議案等委員会付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

---

○藤田謙二議長 以上で本日の議事は議了いたしました。

次回は12月15日、定刻より本会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時32分散会